

177号／2004年11月

**社会を変える！組合も変わる！
連合神奈川第16回定期大会を開催
2年間の活動方針などを決定
白石新体制がスタート**

11月12日、連合神奈川は第16回定期大会を開催。代議員176名、役員49名、傍聴15名の参加の下、2005～2006年度活動方針・予算などを決定。白石俊雄新会長（前事務局長）をリーダーとする新役員が選出され、むこう2年間の労働運動の舵取りを担っていくことが決定した。

大会は山田副会長（電力総連）の司会で幕を開け、安藤（全水道）伊東（電機連合）両氏を議長団に進められた。主催者を代表して演壇に立った真壁会長は「連合の姿が見えない、声が聞こえない、とよく言われる。それを直すには顔と顔を合わせ“俺も連合だがおまえも連合だ”という意識を持って、“俺も変わる、おまえも変わる、それであいつも変わったら、社会も変わるはずだ”との気持ちで連合を支えて欲しい。即効薬は副作用をとまなうかもしれない、副作用の無い万能薬は現場にある」と語った。最後に会長職を辞するにあたり、感謝の意を述べ、感涙に胸を詰まらせた。今後は顧問として連合運動を支えていくこととなった。

引き続き、連合本部・宮原副事務局長、神奈川県・尾高副知事、横浜市・中田市長、川崎市・東山副市長、民主党田中県連代表、社民党福島党首（県代表）、内田議員団会議代表、福祉団体金子労福協会長がそれぞれ来賓としてあいさつ。2004年度活動経過報告、決算報告、同会計監査報告のあと、議事に入り、雇用、組織拡大、政策活動の強化などを掲げた活動方針、予算が採択され、役員選出では白石新会長以下新役員が選出された。大会では、この1年間に組織拡大に功労のあった9構成産別に対し功労表彰を贈り、真壁前会長はじめ10名の退任役員を功労表彰した。

質疑応答

質疑『2005～2006年度活動方針案』について

岩沢代議員（自治労）①横浜市役所の構造改革で、労使協議ができていない。②基地の早期返還実現をお願いします。

永井代議員（自治労）③地域連合でも基地返還を訴える運動をしてきた。連合神奈川も積極的に取り組んで欲しい。

須藤代議員（JAM神奈川）④選挙も大事だが、根本の労働運動にもま進んで欲しい。

応答

①公務員にも基本権を付与し、健全な労使関係を築くために連合としてもサポートしていきたい。

②③基地問題に関しては行動を検討している。

④2大政党制が政策実現のために必要。選挙活動も政策実現のための手段と考えて欲しい。

「さいいっばいやる！」

白石新会長 就任あいさつ
新執行部体制承認の拍手の大きさに、責任と役割をひしひしと感じている。決定した活動方針の実践のために、先頭に立って、せいっぱいやる！今回退任される方々に感謝とお礼を述べ、先達の築き上げてきた歴史を引き継ぎ、スリップやバックなどすることのないように、一步一步、前進していきたい。

教育機関と社会との接続

／勤労観・就労観の育成教育を語る県民の集い

連合神奈川は11月5日、横浜市教育会館で『教育を語る県民の集い』を開催。180名が参加した。

集いは連合神奈川鈴木副会長の主催者代表あいさつで幕を開け、小林敦子氏（横浜市立茅ヶ崎中学校教諭）、篠原敏光氏（神奈川県経営者協会地域求職活動援助事業推進室長）、工藤剛司氏（横浜清稜総合高校教諭）らが「教育機関における社会との接続について」をテーマに、プレゼンテーション。柏木副事務局長を加え、パネルディスカッションを行った。

連合神奈川総決起集会

雇用、社会保障改革、公務員制度改革実現めざし

連合神奈川は11月1日、横浜公園で『雇用の安定・創出、社会保障の抜本改革、民主的な公務員制度改革の実現に向けた連合神奈川総決起集会』を開催した。

集会は、①雇用問題の解決②安心・信頼の社会保障制度確立③非典型労働者の権利確保と格差是正、公務員制度改革など、国民の「安心・安定・安全」のための政策を実現していく。の3つを柱に開催。真壁会長のあいさつに続き、石塚全自交委員長、公務員労組・平本自治労委員長がそれぞれ決意表明。ガンバロー三唱で気合いを入れ、デモ行進。夜の街を練り歩いた。

2面は交通安全キャンペーンのぬりえ(略)